



JFE システムズ 株式会社

JFE

DISCLOSURE REPORT 株主のみなさまへ

2013年度上期ご報告
(2013年4月1日—2013年9月30日)

おかげさまで 30周年



上期業績は計画通り。中期施策の着実な実行により、 通期では3期連続の増収増益、経常利益10億円超を目指します。

2013年度上期の決算をふまえ、JFEシステムズの取り組みについて
菊川代表取締役社長がお答えします。



Q 2013年度上期の評価と、通期業績に関する見通しは？

A 自動車向け、子会社KITシステムズなどが好調。
通期目標達成に手ごたえを感じています。

製造流通業向け、特に自動車メーカー向けの担当領域の
拡大や、子会社KITシステムズの売上増等により、上期は
計画通りの収益を上げることができました。

この流れを継続するとともに、中期計画のアクションを
着実に実行し、通期業績目標達成を目指します。

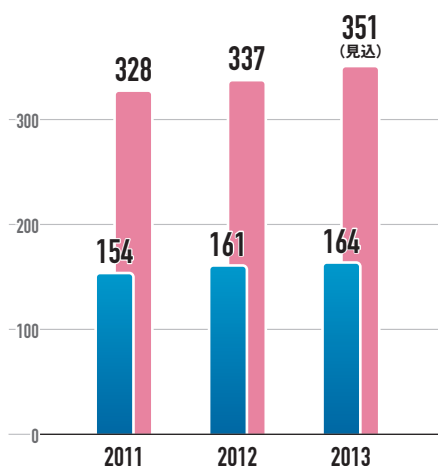
中期計画主要課題

- ▶ 事業統合を梃子にした鉄鋼事業の
体質強化
- ▶ SI事業基盤の強化・拡大
- ▶ 自社プロダクト・ソリューション事業の
更なる成長

連結財務ハイライト

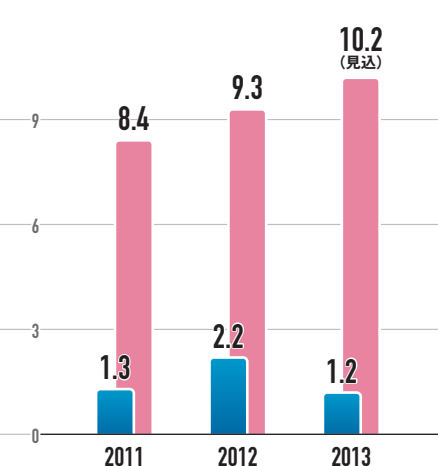
連結売上高

(単位：億円)



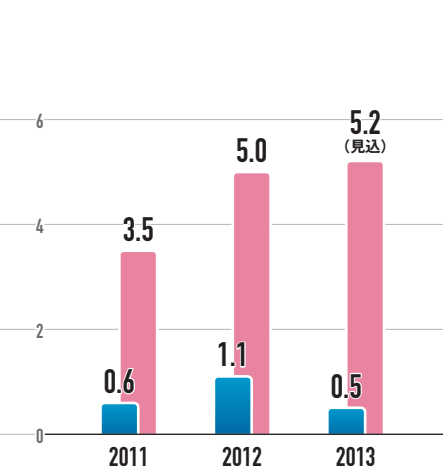
連結経常利益

(単位：億円)



連結当期純利益

(単位：億円)



Q 中期施策への取組み状況は？

A 鉄鋼、SI、プロダクトの3つの軸で競争力強化のための施策を推進しています。

1 事業統合を梃子にした鉄鋼事業の体質強化

鉄鋼事業の当社への統合メリットを活かし、収益体質強化に取り組んでいます。

- 開発品質・生産性向上
- 事業状況に応じた要員シフト
- 製鉄所毎に異なるシステムの共通化・最適化

[JFEスチール生産拠点]

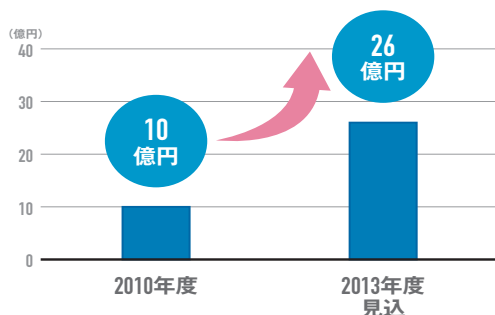


2 SI事業基盤の強化・拡大

製造業に精通した技術者と、きめ細かい要求に対応できる独自のソリューションで、事業を拡大しています。

- 自動車産業を中心として、事業領域を拡大
- 原価、購買ソリューション等で新規顧客を開拓

[自動車産業向け売上推移]



3 自社プロダクト・ソリューション事業の更なる成長

競争力のある2つの自社プロダクトにおいて、ソリューションを深化させています。

- eドキュメント:「電子帳票システム」
- 食品:「MerQuriusネットサービス」



Q 今後の成長に向けたアクションは？

A 成長領域での事業展開や、戦略的な提携をスタートさせています。

1 成長領域での事業展開

新たな分野で、事業を立ち上げるとともに、各種調査・研究活動にリソースを投入しています。

- クラウド、仮想化サービス
- スマートデバイスソリューション など

2 戦略的な提携の推進

本年5月に(株)ビジネスブレイン太田昭和との資本・業務提携をスタートさせました。

- 双方の強み、顧客リレーションの活用
- ソリューションの共同展開

Q 株主のみなさまへ

A 今期は創立30周年の節目の年。成長基調への回帰を確実なものにします。

当社は今年9月1日に創立30周年を迎えました。当社が事業を継続できたのは株主のみなさまをはじめ、関係する方々のご支援の賜物です。改めて感謝申し上げます。

当社はこの歴史の中で積み重ねてきた経験、理念を基盤として、環境の変化に応じた新たな価値を生み出し、中長期的な成長を目指したいと考えています。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 菊川裕幸



おかげさまでJFEシステムズは

30年で当社はこれだけ成長致しました。(設立=1983年9月1日)

〔設立当時〕

〔現在〕

売上高



19倍



鉄鋼システム開発の専業から始まり、今では金融・製造業向け等の外販が5割弱を占めるようになりました。

従業員数



47倍



設立時の3人+新入社員36人で始まった会社が、1,800人を超える規模(連結)になりました。当社としては、ここ5年で、新入社員を計187人採用し、この間の定着率は94%になります。

キーワードで振り返る30年

「真っ白な会社を選びませんか。」

～1984年4月 第1期新入社員入社

株主のみなさま「はじめまして!」

～2001年3月 株式上場



東京事業所 菱山尚史

私は84年4月に1期生として入社しました。30年間で会社は変化、成長を遂げました。ここで改めて「真っ白い」気持ちを確認しつつ、次のステージに牽引して行きたいと思えます。

「真っ白な会社を選びませんか。」

当社の初めての採用活動はこのキャッチコピーで始まり、1984年4月に第1期生として、36人が入社しました。

当時の社名は「川鉄システム開発(株)」で、設立当初はOA機器のハード販売から始まり、その後、都市銀行向けのシステム開発等が加わりました。

1986年から1988年にかけて旧川崎製鉄のシステム部門が合流し、約1,000人の体制になりました。

2001年3月8日 当社は東証2部に上場しました。

(当時の社名=川鉄情報システム(株))

この日から、当社の重要なステークホルダーとして、「株主の皆様」に加わって頂くことになりました。

2013年9月30日現在、1,773人の株主様がいらっしゃいます。

当社と致しましては、株主の皆様への期待に沿えるよう、これからも努力してまいります。



30周年活性化活動
シンボルマーク

KNOW EACH OTHER



JFE システムズの夢を語ろう

人をつないで 活気ある会社をつくらう
人をつないで 企業の総合力を発揮しよう

創立30周年を迎えました。

これからの30年に向けて

社内活性化活動

当社が競争力を強化し、持続的発展を目指していくためには、「鉄鋼」「外販」などの部門を越えた人材交流の加速や社内横断的な情報・ナレッジ共有が不可欠と考え、創立30周年を節目に社内活性化活動を始めました。

活動のポイント 1 社内SNSの導入



30周年活動のキーワードである「KNOW EACH OTHER」の下、お互いを知る活動を支える仕組みとして社内SNSを導入しました。部門をまたいで進められているプロジェクトメンバー間の情報共有等に利用されています。

活動のポイント 2 全社横断活動



30周年を機に、日本各地に点在する事業所間の社員コミュニケーションの強化を目指し、全社横断活動を始めました。

「JFEシステムズの夢を語ろう」をテーマに各事業所から立候補した若手～中堅社員35人が6チームに分かれ、会社への提言を検討しています。



東日本事業所 梅木詩織

この活動では、通常の業務では会うことがない先輩方の考え方を聞くことができ、とても新鮮な気持ちで取り組んでいます。

「Nice to meet you! NY」

～2009年11月 米国子会社 (JSU,Inc) 設立



JSU,Inc出向 渋谷 章

アメリカという異国の地でも、我々のやり方が通用するということが肌で感じています。

当社は2009年11月1日に全額出資子会社としてJSU,Incを設立しました。

JSUはニューヨーク、マンハッタン島の南端にあり、米国に進出した日系企業の米州域内事業に関する基幹システムの開発を中心に事業を展開しています。

JSUは当社の海外事業拡大を推進するという役割だけでなく、社員の国際的視野を養う場としても重要な機能を果たしています。

「311人の仲間たち いらっしゃい」

～2011年4月 (株)エクサの鉄鋼部門承継

2011年4月1日 (株)エクサから鉄鋼部門を承継し、当該部門のエクサ社員311人が当社の社員となりました。

この承継で、親会社であるJFEスチールの本社と全製鉄所(東日本、西日本、知多)のシステム開発を当社が担うことになりました。

現在、検討を進めている鉄鋼のシステム共通化についても、この体制であることが大きな強みとなっています。



▲承継で当社の仲間となった元エクサ(京浜)のメンバー

当社の将来を担う42人（2013年度新入社員）です。



当社の2013年度の新入社員として、42人のフレッシュャーズが入社しました。男女比は1：1、それぞれ21人ずつです。当社の将来を担うこの若者たちは3カ月間の研修を経て、各地に配属され、現在、業務と格闘しています。

当社に入社を決めた理由は？

- 1位 先輩社員の人柄
- 2位 会社の雰囲気
- 3位 面接時の対応

- 全力で取り組みます
- 体力に自信あり
- 大きな声が特長です
- 熱意と粘り!
- 視野を広く!
- 負けん気強いです!
- 笑顔で頑張ります!
- 好奇心旺盛!
- ポジティブシンキング!
- 頑張ります!
- 元気が武器です

1年先輩(2012年入社)も頑張っています

2012年入社の小原一己君は、JFE東日本硬式野球部に所属しています。10月末から京セラドーム大阪で行われた社会人野球日本選手権に出場し、3試合に登板。チームのベスト8進出に大きく貢献しました。



出身地

兵庫県	8人
岡山県	6人
東京都	6人
広島県	4人
大阪府、千葉県、神奈川県	3人
京都府、埼玉県	2人
茨城県、滋賀県、香川県	1人
沖縄県、和歌山県	1人

連結貸借対照表

	2012年度末 (3月31日)	2013年度 上期末 (9月30日)	差
資産の部			
流動資産	12,079	11,494	① △584
固定資産	6,872	7,068	② 196
資産合計	18,951	18,563	
負債の部			
流動負債	6,636	6,152	
固定負債	2,754	2,943	
負債合計	9,389	9,095	③ △295
純資産の部			
株主資本	9,249	9,138	
その他	312	330	
純資産合計	9,561	9,468	④ △93
負債純資産合計	18,951	18,563	

POINT

- ① 流動資産 ⇒ 584百万円減少
売掛金の回収による減少
 - ② 固定資産 ⇒ 196百万円増加
(株)ビジネスブレイン太田昭和の株式取得等による増加
 - ③ 負債合計 ⇒ 295百万円減少
買掛金の支払いによる減少
 - ④ 純資産合計 ⇒ 93百万円減少
株主配当の支払等による利益剰余金の減少
- 以上の結果、自己資本比率は49.4%



詳しくは、
当社ホームページ > 投資家の皆様へ > 財務情報
をご覧ください。

<http://www.jfe-systems.com/ir/finance/index.html>

株式分割ならびに単元株制度採用に関するお知らせ

当社は2013年10月1日をもって、普通株式1株を100株に分割するとともに、単元株制度を採用し単元株式数を100株といたしました。この株式分割ならびに単元株制度採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。



詳しくは、当社ホームページのニュース・プレスリリースをご覧ください。

http://www.jfe-systems.com/company/press/pdf/20130827_bunkatsu.pdf

株式分割

発行可能株式総数 31,412,000株*
発行済株式総数 7,853,000株*
※2013年10月1日以降

単元株制度採用

単元株式数 100株
単元株制度新設

配当予想修正

1株当たり配当予想および配当金額に実質的な変更はありません。
1株当たり配当 20円 × 単元株式数 100株 = 2,000円

会社の概要

名称(商号)	JFEシステムズ株式会社 JFE Systems, Inc.
本社所在地	〒130-0012 東京都墨田区太平四丁目1番3号 オリナスタワー17階 電話 03-5637-2100(代表)
設立	1983年9月1日
資本金	1,390,957千円

主な事業内容	情報システムのインテグレーション および運用・保守など
従業員数	1,836名(連結)
子会社の状況	当社の議決権比率 KITシステムズ株式会社 67.5% JSU, Inc. 100.0%
上場証券取引所	東京証券取引所第二部(証券コード:4832)

経営体制

取締役	代表取締役社長	菊川裕幸
	代表取締役	西崎宏
	取締役	堀田善一
	取締役	渡部尚史
	取締役	山本崇博
	取締役	宮原一昭
	取締役	福村聡
	取締役	上條巧
	取締役(社外)	北山直人
	取締役(社外)	都築正行
監査役	常勤監査役	杉充
	常勤監査役(社外)	深川均
	監査役(社外)	岡井哲
	監査役	原田敬太
執行役員	社長(CEO)	菊川裕幸
	執行役員副社長	西崎宏
	専務執行役員	堀田善一
	常務執行役員	渡部尚史
	常務執行役員	山本崇博
	常務執行役員	宮原一昭
	常務執行役員	福村聡
	常務執行役員	上條巧
	執行役員	金藤秀司
	執行役員	佐々木富雄
	執行役員	柏原大造
	執行役員	國安誠
	執行役員	中村元純
	執行役員	下田純

株式の状況

発行可能株式総数	338,050株
発行済株式総数	78,530株
株主数	1,773名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数	持株比率
JFEスチール株式会社	51,165株	65.15%
JFEシステムズ社員持株会	6,931株	8.83%
富士通株式会社	2,500株	3.18%
アトラス情報サービス株式会社	500株	0.64%
JFEアドバンテック株式会社	500株	0.64%
JFE電制株式会社	500株	0.64%
JFEメカニカル株式会社	500株	0.64%
JFE物流株式会社	500株	0.64%
三井住友信託銀行株式会社	500株	0.64%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	株主総会・期末配当は毎年3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://www.jfe-systems.com/ir/stock/houtei.html ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所第二部

お知らせ

- 住所変更等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申付けください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
*確定申告をされる株主様は、大切に保管してください。

●注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。



JFE システムズ 株式会社

JFE